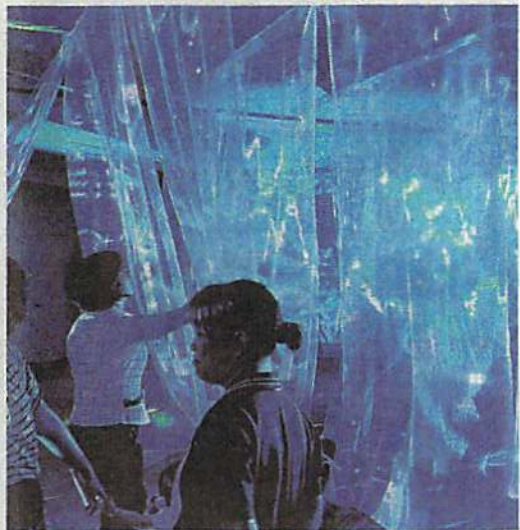




壁や天井に投影された海の世界を満喫する子どもたち―普通寺市仙遊町、四国こどもとおとなの医療センター―

まるで海



り、床に寝る魚群を見上げるの世界を満喫年の勝手利帆ラゲがきらききいだった」とた。
22日は午前時半まで一般後、同院の患者透明な布に投影の群れ

島の情景を作品に

栗島芸術家村で成果展

海岸に打ち上げられた冷蔵庫や空き缶などでつくった作品などを見学する(左から)日比野さん、森山さん、菊地さん―三豊市詫間町、日々の笑学校

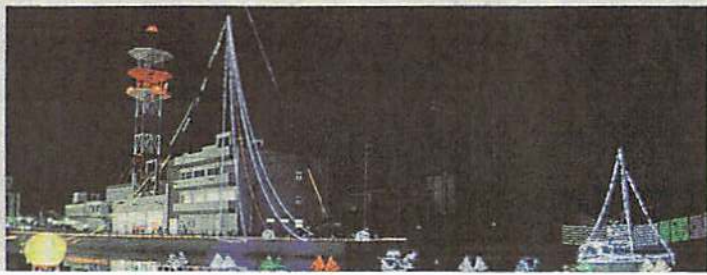


日比野さん迎え終了式

んは、サワガニや養殖タイなどの模様を島民と染め上げたアロハシャツ「アワロハ」などを展示している。21日は同校長でアーティストの日比野克彦さんが来島し、終了式を実施。約20人の島民らを前に、日比野さんは「2人にとって古里が一つ増えたような貴重な経験になったと思う」とあいさつ。菊地さんは「皆さんの協力で、作品展にこぎ着けられた。あつという間の4カ月だった」と振り返り、森山さんは「これからも創作を続け、栗島に戻ってきた」と話した。

展示は各日午前10時〜午後5時。無料。期間中、森山さんは西浜海岸で「龍神様」と題したパフォーマンス。休耕田を活用したヒマワリ畑など三豊市山本町の魅力をPRしようと、まちづくり推進隊山本などは町内で撮影した写真のコンテストを開催している。現在、作品を募集している。同推進隊は「それぞれの目線で山本町の

海峡彩る優しい光 土庄「おんばたルミナリエ」



「世界一狭い海峡」として知られる土庄町の土洲海峡で20日夜、ライトアップイベント「瀨崎おんばたルミナリエ」が行われた。発光ダイオード(LED)やうと、近隣灯籠の優しい光が周辺を彩り、家族連のひとときイベント瀨崎港(浦核に地域のうと、近隣灯籠の優しい光が周辺を彩りつくる「瀨

栗島芸術家村事業(市主催)の滞在作家による作品展が、三豊市詫間町の栗島内の「日々の笑学校」(旧栗島中学校)で開かれている。島内の情景や漂流物などにスポットを当て、島民らと共に制作した作品の数々が来場者を魅了させている。27日まで。

同事業では、菊地良太さん(36) 千葉県出身 森山泰地さん(28) 東京都出身の2人が5月から島に

滞在し、身の回りの何気ない風景に目を向けて景色を尊ぶという「尊景」をテーマに創作活動を展開してきた。作品展は「セルフ尊景」と題し、約4カ月間の成果展として企画した。漂流物を使った立体作品を手掛けた森山さんは、海岸に打ち上げられた冷蔵庫や空き缶などで自動販売機を「創造」し、環境破壊を問題提起した「龍神自動販売機」などを披露。菊地さ

休耕田を活用したヒマワリ畑など三豊市山本町の魅力をPRしようと、まちづくり推進隊山本などは町内で撮影した写真のコンテストを開催している。現在、作品を募集している。同推進隊は「それぞれの目線で山本町の

「まねて」見つけ

三豊・山本町推進隊が募集すてきなところを見つけてほしい」としている。町外に魅力を発信する元々の良さを再認識してもワリ